

埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース



ごあいさつ

副院長 門野 夕峰

青葉が生い茂り、心地よい季節となりました。皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、医療界は大きな変革を余儀なくされ、新たな感染対策の下で医療を提供することが求められています。当院の手術部も例外なく、動線を分離することで、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、手術を行える体制を整えました。昨年度はコロナ禍前と同じ水準で手術を行えるようになりました。

また、超高齢社会のわが国では、手術症例において併存疾患がないことは少なく、一つの診療科だけで診療することが難しい現状があります。窓口となった診療科だけでなく、地域の医療機関や院内他科と情報共有しながら、診療していくことが重要だと思えます。

皆さまからご紹介していただいた患者さんを、病院全体として適切な診療を提供していきたいと思えます。診療連携を活化していければと思えますので、今後ともよろしく願いいたします。

※門野副院長・中央手術部長（写真左から2人目）と整形外科外来スタッフ

Contents

ご紹介	2
中央検査部のご紹介	
診療科のご紹介	3
総合診療内科	
救急センター	
医師のご紹介	
消化器一般外科	4
産婦人科	4
病院長からのメッセージ	5
看護部から	5
中央治療センターの紹介	
提携医療機関から	
ハロークリニック	6
電話初診予約について	6
電話初診予約のご案内書	7

中央検査部のご紹介

「一歩前に」を心掛け、従来の枠組みにとらわれることなく「新しい価値の創造」と「検査を通じた医療への貢献」を目指し、日々の検査業務に取り組んでおります。

中央検査部は臨床検査医学を専門とする常勤医師3名と、臨床検査技師および胚培養士の常勤計73名で組織されます。院内では検体系検査室（一般・血液・化学・免疫・微生物）、生理機能検査室、輸血検査室のほか、主に外来患者さんの採血業務を担当する中央採血室を運営します。このほか、地域に赴く「巡回バス健診業務」、さらには院内感染対策をはじめとする様々なチーム医療にも活動を展開しております。

我々の使命。それは、常に精確かつ迅速な検査を行い、責任をもって患者さんの手元に良質な検査結果をお届けすること。そして、常に新しい技術を取り入れ、診療医のニーズに即した検査を柔軟に提供することと考えます。現在、国際的な臨床検査の標準規格である「ISO15189」の取得、さらには検体系検査室の統合移転に向け準備の真っ最中です。来春には新しい認証検査室へと発展させ、より一層の品質向上とともに、患者満足度が向上することを

お約束いたします。

当検査部の新しい取り組みとして、当院産婦人科（リプロダクションセンター）と共同で胚培養室を運営することになりました。不妊治療の高いニーズに応えられるよう、体制強化に努めてまいります。さらに、2023年5月には臨床検査技師を救急外来に派遣し、超音波検査を含む必要な臨床検査を行う体制づくりを開始いたします。これにより、救急診療の現場での臨床検査のアクセス性を向上させ、よりスムーズな患者対応につながるよう努力いたします。

最後になりますが、我々は大学病院検査部として、次世代につながる人材育成を重要な課題であると考えております。さまざまな検査室において臨床検査技師および各種学校学生の指導を行います。どうかご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

医療連携いただく先生方へ

中央検査部で実施した検査の結果について、ご不明な点がございましたら、担当医を通じてご相談ください。

中央検査部 教授 前田 卓哉



前田先生(写真中央)と中央検査部スタッフ

● **総合診療内科 教授 中元 秀友 (ナカモト ヒデトモ)**

総合診療内科の特徴は、臓器や疾患に関わらず、あらゆる内科系疾患の患者さんに対応することにあります。受診科が判り難い各種症状の診療や、複数の健康問題を有する患者さんを総合的に診療し、必要に応じて専門各科や地域の医療機関に繋ぐ役割を担っています。また各診療科との連携を重視して患者さんに対応しています。どの診療科を受診すればよいか分からない場合は、まず当科を受診してください。また他の医療機関から当院にご紹介いただく場合、診療科の選定が困難な患者さんは総合診療内科にご紹介をお願い致します。当科では、個々の患者さんに最適な医療を、専門各科と連携して対応致

します。

また全身管理が必要な患者さんに対しても対応できるよう体制を取っています。心臓内科や呼吸器内科、腎臓内科等の専門医も所属しており、専門各科との連携も取り重症患者さんの診療に対応しています。他の医療機関とも連携し、集中管理が必要な患者さんも積極的に受け入れています。患者さんで全身管理が必要な時には、何時でもご連絡ください。今後も皆さんとの連携を中心に、紹介患者さんを積極的に受け入れるよう頑張っています。総合診療内科を宜しくお願い致します。



カンファレンス風景

診療部長のご挨拶

埼玉医科大学総合診療内科が全国に先駆けて創設されたのは2006年、今年で18年目になります。連携施設の皆さんにも名前を知って頂き、紹介患者さんも増えてきました。当科にとって連携施設の皆さんとの連携は最も重要です。今後も地域にとって重要な診療科を目指し、これまで以上に頑張りたいと思っています。

総合診療内科 診療部長 中元 秀友
外来☎：049-276-2034

診療科のご紹介

● **救急センター 准教授 高平 修二 (タカヒラ シュウジ)**

病院を受診する際に「すぐに専門医の診察を受けたい」、「夜間でも医師に診てもらいたい」という患者さんの心情は当然です。しかし24時間にわたってすべての診療科の専門医を待機させることは人口当たりの医師数が最も少ない埼玉県では困難であり埼玉医科大学病院も例外ではありません。埼玉医科大学病院救急センターは、様々な病気や怪我に24時間体制で対応する病院をあげての横断的な組織で

緊急度の高い患者さんから順に診察を行います。

また当院では西入間消防と救急ワークステーションに取り組んでいます。救急ワークステーションとは日中、救急隊が当院に常駐して必要と思われる救急患者の要請の際には救急医を救急車に同乗させて現場にむかうシステムです。

日本初となる臨床中毒科は様々な中毒症例を受け入れています。中毒症例以外も含め重症症例の全身管理はICUで行っています。我々は24時間365日、地域の救急患者さんの受入要請を断らない、さらには搬送困難受入医療機関として地域の皆様に貢献できるように救急科を発展させていこうと思っています。

す。看護師が患者さんの重症度判定(トリアージ)を行い診療の優先度を決め



回診風景

診療部長のご挨拶

国の方針による働き方改革により夜間の診療体制は大きな転換期を迎えます。総ての診療科の医師が当直している体制から少数の医師で夜間、対応する体制に変化します。日中、受診できる方は出来るだけ日中に受診して戴けるようお願い申し上げます。少ない人数でも安全に診療できるシステムの構築に全力で取り組みます。

救急センター 診療部長 高平 修二
外来☎：049-276-1199

● **消化器・一般外科 助教 高木 誠 (タカギ マコト)**

近隣地域の医療機関の皆様、いつも多くの患者様をご紹介頂きありがとうございます。

消化器・一般外科、甲状腺外科チームでは外科専門医3名で、甲状腺疾患、副甲状腺疾患の主に良性疾患（バセドウ病や原発性副甲状腺機能亢進症）を対象に診療を行っています。

甲状腺に異常のある方は日本全国で200万以上、

推定で500万人とも言われています。甲状腺疾患では、甲状腺ホルモンの異常で起きるバセドウ病やホルモン異常なく起こる腫瘍もあります。また副甲状腺疾患では副甲状腺ホルモンの異常により高カルシウム血症、骨粗しょう症、尿管結石等を発症することがあります。このように甲状腺、副甲状腺の疾患は多岐にわたり、正確な診断と治療が必要です。特に当科では良性疾患の診療を主に行っておりますので、これらを安全に行うには密接な医療連携が必要です。当科では当院内分泌内科、耳鼻咽喉科、形成外科、麻酔科と連携し安全な周術期を行えるように手術に臨んでおります。

上述したように甲状腺、副甲状腺疾患の症状は多岐にわたり、潜在的な患者様も多くいらっしゃる事が予想され、少しでも甲状腺、副甲状腺疾患を疑う患者様がいてお困りの際には、お気軽にご相談ください。



甲状腺全摘術の手術風景

医師のご紹介

● **産婦人科 准教授 高村 将司 (タカムラ マサシ)**

日頃は診療連携にご高配をいただき、誠にありがとうございます。私の専門は鏡視下手術や生殖補助医療ですが、近年新規導入しました術式についてご報告いたします。

骨盤臓器脱の手術療法は多岐にわたりますが、当科はnative tissue repairと呼ばれるメッシュなどの人工物を使用せず、元々ある組織で骨盤底を補強する手術法を主に用いて治療してまいりました。一方で腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）はメッシュを用いるやや難易度が高い手術ですが、性機能への影響が少なく再発率が低いことが特徴の新しい手術です。当院では泌尿器科で先行して導入しており、御指導を賜り2021年に当科も導入しました。2023年3月現在まで17件の手術を安全に施行し、短期再発例は1例（5.9%）です。

当院で骨盤臓器脱の治療を受けるメリットは、他院に比べて豊富な手術選択肢があるため、患者の特性やニーズにあった治療方法を提供できることで

す。LSCが新たに加わったことで、性機能温存を要する若年の方への治療提供も可能となりました。骨盤臓器脱の方で手術療法を検討されている患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただけましたら幸いです。



写真(左)高村先生、(中央)泌尿器科 科長 篠島先生、LSC術中の風景

● 病院長からのメッセージ

消化器・一般外科 高木誠先生

高木誠先生は現在、消化器・一般外科において甲状腺疾患の診療チームの一員として活躍しています。同時に、消化器一般外科領域の診断治療にも精通しており、腹部領域における緊急手術にも対応でき、大学病院においてもかかせない先生の一人です。甲状腺領域の疾患は幅広く、正確な診断治療が必要とされ、他科との連携も重要になってきます。甲状腺良性疾患の診療も以前と比較し変化してきました。これらを疑う患者さんに対して、高木先生は丁寧に診療をされておりますので、このような患者さんがおられましたらご遠慮なくご紹介頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

産婦人科 高村将司先生

産婦人科高村将司先生は産婦人科領域における鏡視下手術や生殖補助医療など、当院において幅広く活躍しておられます。骨盤臓器脱は婦人科、泌尿器

科、消化器一般外科にまたがる場合が多く、女性ヘルスケアセンターとして複数科の連携を高めています。手術も複数科合同で行うこともあります。手術内容も時代とともに変化してきておりますが、今後骨盤臓器脱の方は増加してきておりますので、対象となる患者さんがおられましたら、高村先生にご紹介頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



● 看護部から

中央治療センターの紹介

埼玉医科大学病院化学療法室では、血液内科、呼吸器内科、消化器肝臓内科、消化器外科、泌尿器科、皮膚科のがん薬物療法を受ける患者さんやリウマチ膠原病科の関節リウマチ、消化器肝臓内科、消化管内科の潰瘍性大腸炎、クローン病患者さんの生物学的製剤の治療を行っております。がん化学療法看護認定看護師が1名在籍し、患者さんご家族を支援するために病棟と外来を横断的に活動しております。近年、がん薬物療法は特性の異なる薬剤の多剤併用などにより複雑化した治療となることで様々な有害事象が出現する可能性があります。治療を受ける患者さんの病状・生活状況・人生において大切にしていることなどを包括的に理解し、患者さん自身のセルフケア能力を高め、症状マネジメントなど専門性を発揮し個別的に面談を行



抗がん薬投与風景

なっております。

当院では、抗がん薬投与中、一人ひとりに自宅での様子を伺います。その情報を主治医、薬剤師、栄養士、各科外来看護師と情報共有、連携し患者さんが安心して治療を継続できるように支援しております。また、患者さんと治療中でも明るい雰囲気での治療が受けられるような環境づくりをして、患者さんが治療と仕事の両立、その人らしい生活ができることを目標に支援しております。治療や生活等支援が必要な患者さんがいらっしゃいましたら中央治療センター（049-276-2034）にご相談ください。

がん化学療法看護認定看護師 柿沼 望江



中央治療センタースタッフ一同

提携医療機関から

ハロークリニック(東松山市)

当院は、「障害のある人もない人も支援者も自分らしく生きる」という共生社会を目指す「社会福祉法人 昴」のもとに開院したクリニックです。障害者と地域の人々との架け橋になるために医療を行っております。現在は、小児を中心に癲癇等の神経疾患、脳性麻痺、知的障害、ADHD や自閉症スペクトラム等の発達障害、不登校等の精神疾患と地域の人々のための診療をしています。当院で対応できない場合、埼玉医科大学病院にお願いする症例が多く、その際、初診予約が簡便な貴院のカルナシステムは非常に有用です。障害者や地域の人々のために医療を続けるには、今後も貴院との連携が不可欠と思われれます。

院長：新井 克己



医療機関情報

診療科目：小児科・内科・精神科(児童)・リハビリテーション科

診療時間：月・火・水・木(午前のみ)・金・土
午前 9:00~12:00
午後 15:00~18:00
(土曜は14:00~17:00)

休診日：木曜午後・日曜・祝日

ホームページ：<https://www.subaru-swc.com/~hello-clinic/index.html>



電話初診予約について

電話でご紹介頂く患者さんの初診予約を行います。

患者さん・ご家族および医療機関からの申し込みになります。

※「電話初診予約ご案内書」は、7ページをコピーしてご利用いただくか、またはQRコードを読み取ってダウンロードしてご利用ください。

URL：<http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/cooperate/pdf/tel2021.10new.pdf>



①ご紹介患者さんの受診料が決まりましたら、紹介状と一緒に電話初診予約ご案内書を患者さんへお渡しください。お渡しいただく際に、患者さん自身で予約センターへ電話連絡の上、予約をとってから受診いただきますようご案内お願いいたします。

※ただし、予約枠の無い診療科がありますので、予めご了承ください。

なお、患者さん自身で電話予約ができない場合は、お手数ですが、医療機関様よりご連絡いただけますようお願いいたします。

受診当日に、初診窓口で紹介状等とともに電話初診予約ご案内書を提示していただくようお願いいたします。

受診後は、診察させていただいた医師より報告書をお届けいたしますので、ご確認をお願い致します。

埼玉医科大学病院 予約センター TEL：049-276-1179

受付時間 月曜日から土曜日(日曜・祝日を除く) 午前8時30分から午後5時

※病院診療部のご予約が取得出来る様になりました。(2023 4月1日～)

救急患者のご紹介は直接、救急センターへご連絡下さい。

TEL：049-276-1199 FAX：049-295-8007

電話初診予約ご案内書

年 月 日

紹介元医療機関名

医師氏名

電話初診予約ご利用の患者さんへ

埼玉医科大学病院 予約センター 049-276-1179
受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00

◆ご来院の際は、下記の太枠内に必要事項を記入の上、上記予約時間の15分前までに本館1階初診窓口にて、「ご来院日にお持ちいただくもの」をお出しください。既に、診察券をお持ちの方も初診窓口にお寄りください。
 (初診窓口での外来診療申込書の記載は必要ありません)

◆ご来院日にお持ちいただくもの

- ・本書(ご案内書) ・健康保険証 ・各種公費医療券(お持ちの方のみ) ・診療情報提供書(紹介状)
- ・埼玉医科大学病院のIDカード(診察券)(お持ちの方のみ)

◆診療の状況により予定時間より遅れることもあります。予めご了承ください。

◆ご受診当日、本書を忘れた場合は初診窓口前にある外来診療申込書を記載してから初診窓口へ提出し予約があることをお伝え下さい。

◆キャンセルや予約変更は予約センターへご連絡をお願いします。

◆下記の太枠内は患者さんご自身でご記入ください。

埼玉医科大学病院		予 約 日 時			
診療科		年 月 日 ()		時 分 ~ 時 分	
フリガナ	(氏) Family name (名) First name	国籍 Nationality	性別 <input type="checkbox"/> 男(M) <input type="checkbox"/> 女(F)	生年月日(Date of Birth) 明・大・昭 年 月 日 平・令	
患者氏名					
〒	(Zip)	電話番号(Phone No.)			
現住所 (Address in Japan)		携帯電話(Mobile Phone No.)			
	都道府県	区市郡	町村	マンション・アパート名(号室)	
フリガナ	(氏) Family name (名) First name	続柄	(Relationship to Patient)		
連絡者 (本人以外)				患者の	
〒	(Zip)	電話番号(Phone No.)			
連絡先住所 (Family-address)		携帯電話(Mobile Phone No.)			
	都道府県	区市郡	町村	マンション・アパート名(号室)	
埼玉医科大学病院受診歴 あり・なし					
ありの方 前回受診日以降に住所等の変更があれば、変更前のお知らせ下さい。					
旧姓	旧住所		旧TEL		

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学 建学の理念

- 第1. 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2. 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長
を主体的に開展し得る人間の育成
- 第3. 師弟同行の学風の育成

埼玉医科大学の期待する医療人像

- 高い倫理観と人間性の涵養
- 国際水準の医学・医療の実践
- 社会的視点に立った調和と協力

埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心して質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。

これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心して質の高い医療を受ける権利
3. ご自分の希望を述べる権利
4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

当院は、すべての小児の患者さんには、以下の権利があるものと考えます。

これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター : 049-276-1199
地域医療連携室 : 049-276-1876
予約センター(外来初診予約) : 049-276-1179

医療福祉相談室(退院調整) : 049-276-2119
入退院・患者支援室 : 049-276-1484
セカンドオピニオン受付 : 049-276-1121



埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース(17号)

発行 : 埼玉医科大学病院
発行責任者 : 篠塚 望
編集 : 埼玉医科大学病院広報戦略委員会・地域医療連携室
編集責任者 : 池園 哲郎・中里 良彦
電話 : 049-276-1876 地域医療連携室
住所 : 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
発行日 : 2023年5月1日

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。